

2022年7月19日

報道関係各位

NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会
(リガーレ)

【設立 20 周年】大丸有エリアマネジメント協会 夏イベントのご案内
Marunouchi Street Park 2022 Summer
大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検隊 2022
第 76 回丸の内軟式野球大会



大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検隊 2022

Marunouchi Street Park 2022

第 76 回丸の内軟式野球大会

NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ)^(*)は、2022 年に 設立 20 周年を迎えます。大手町・丸の内・有楽町(大丸有)地区を中心とした地域の活性化や環境改善、コミュニティの形成を目的に、これまで地域と人を結ぶ、人と人を結ぶイベントや社会実験などを多数実施。ソフト面でのまちづくりを進める役割を担ってまいりました。

今年の夏イベントとして、「Marunouchi Street Park 2022 Summer」、「大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検隊 2022」、「第 76 回丸の内軟式野球大会」を実施いたします。

「Marunouchi Street Park 2022 Summer」は、2019 年からスタートした、丸の内仲通りの今後のあり方や活用方法を検証する実証実験です。これまで、天然芝の敷設や屋外ワークスペース、仮設建築物の設置など、通りの役割や季節ごとの可変性を様々な形で探ってまいりました。今回は、「みんなの Marunouchi Street Park」をテーマに、D&I(Diversity&Inclusion)などに即し多様な人々が日常的かつ自由に利用できる都市公園空間を作り上げます。

「大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検隊 2022」は、「子供の未来」をテーマに夏休みの小学生を対象にした食育・工作・理科実験・まちめぐり・体力・音楽等のジャンルをワークショップ形式で体験出来るイベントです。初開催のワークショップとして、「Minecraft カップ 2022 全国大会 応援企画」や、木楽舎つみ木研究所が主催する「子どもは未来の建築家:つみ木アートアクション」の他、「第 76 回丸の内軟式野球大会」とコラボレーションした「ケガをせず親子でスポーツ(野球)を楽しもう!」がごぞいます。

「第 76 回丸の内軟式野球大会」は、主に大丸有エリアの企業 45 社がトーナメント方式で優勝を争います。今回は、野球大会参加者で編成される特別チームと(一社)日本未来スポーツ振興協会の選抜チームが決勝戦後に行うエキシビジョンマッチや「大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検隊 2022」とのコラボレーションした「野球教室」を 9 月 4 日(日)決勝戦の後に開催します。

大丸有エリアマネジメント協会では、20 周年を迎え、これまで同様に、様々なイベントや取り組みを通して公的空間・施設活用やコミュニティ形成を実現し、まちづくりを通じて、人々の幸福度の向上実現をめざしてまいります。

(*)「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(大丸有協議会)、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ)、一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツツエリア協会)」の 3 団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

大丸有エリアマネジメント協会 夏のイベント開催概要

●Marunouchi Street Park 2022 Summer

【実施日時】 2022年8月2日(火)～9月11日(日)

11:00～22:00(最終日は20:00まで)

【実施場所】 丸の内仲通り 丸ビル～丸の内パークビルブロック

【主催】 Marunouchi Street Park 2022 実行委員会

(NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会／一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会／三菱地所株式会社)

【後援】 千代田区・東京都(いずれも予定)

【URL】 <https://marunouchi-streetpark.com/>

●大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検 2022

【開催日時】 2022年8月1日(月)～9月4日(日)

【開催場所】 大丸有(大手町・丸の内・有楽町)地区の施設、レストラン店舗等

【対象者】 小学生

【主催】 大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検 実行委員会

(NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会／一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会／一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会／三菱地所株式会社)

【URL】 <https://ecokids.tokyo/>

●第76回丸の内軟式野球大会

【開催日時】 2022年7月17日(日)～2022年9月4日(日)

※毎週日曜日開催(8月14日を除く)

※途中予備日を含む ※雨天順延

【開催場所】 明治神宮外苑軟式野球場(〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 2-3)

大宮けんぼグラウンド(〒331-0065 埼玉県さいたま市西区ニツ宮 113-1)

【試合方法】 トーナメント方式

【参加チーム数】 45チーム

【主催】 NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ)

【協賛】 ナガセケンコー株式会社、毎日新聞社、公益財団法人まちみらい千代田、三菱地所株式会社、ELC ジャパン株式会社、日の丸自動車興業株式会社、キリンビバレッジ株式会社、東京駅周辺防災隣組

【後援】 千代田区、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ)20周年について

丸ビルが建て替わった2002年に発足した当協会は、大丸有エリアが「街びらき」してからの20年間、公的空間の活用やコミュニティ形成等ソフト面でのまちづくりに注力し、エリアの面的な発展に寄与してまいりました。

20周年を迎えた今年は今までの活動を振り返った上で、「人々の幸福度の向上」をテーマと定め、街でのあらゆるつながりを促進し、この街のファンを増やしていくことを目指します。

公的空間活用・コミュニティ形成の大きな2本柱は変わらず、サステナビリティや多様性に配慮したプロジェクトや、街の様々なプレイヤーを巻き込んだ参加型のプロジェクト、アプリやメタバースなどDXを利用した新たな街の発見方法など、時代に即した形で活動を展開してまいります

大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ)について

大丸有エリアマネジメント協会は、1988年に「大丸有地区再開発計画推進協議会」が結成されたことを皮切りに、長期的なまちづくりの方針を立てるガイドラインのもとハード面の整備が進む大手町・丸の内・有楽町(大丸有)エリアにおいて、ソフト面でのまちづくりを進める役割として、2002年に誕生しました。「Ligare(リガーレ)」は、ラテン語で“結ぶ”という意味をもち、大手町・丸の内・有楽町を結ぶ、地域と人を結ぶ、人と人を結ぶ、そんな気持ちを込めて、協会の愛称としました。

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会が策定した「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりガイドライン」の趣旨・内容を尊重しながら、大手町・丸の内・有楽町地区を中心とした地域の活性化や環境改善、コミュニティの形成に関する事業を行い、その成果を多様な人々が享受することによって、地域社会ひいては東京並びに日本社会の活性化に寄与することを目的として活動しています。

大丸有エリアはこの30年間、日本を代表するビジネス街でありながら、商業施設や魅力的な店舗が増え、ビジネスパーソンから観光客まで多くの方多様な人材が集まる場所と変化してきました。こうした街の更なる変化を活かし訪れたいと思ってもらえる場所となるよう、地域資源を活かした賑わいの創出や、エリアに親しみを持てるような街づくりを日々推進。最近ではテクノロジーやデータを活用した都市のアップデートの取組にもチャレンジしています。

これまで開催したイベントや取り組み

丸の内仲通りアーバンテラス

丸の内仲通りの車両交通規制時間を活用し、道路空間を活かした新たな賑わいの創出や都市観光の発展を目的に実施。イスやテーブル、キッチンカー等の設置、各種イベントやアクティビティの受け入れにより、丸の内仲通りに新しい風景を創り出しました。



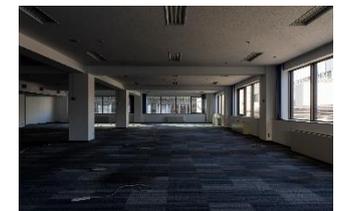
丸の内ラジオ体操

大丸有(大手町・丸の内・有楽町)エリアのオフィスワーカーのランチタイム後のリフレッシュや健康促進を目的に2015年よりスタートしました。今年5月に第12回を丸の内仲通りで開催し、10日間で延べ1200人近くの方が参加しました。



アートアーバニズム パイロットプログラム

都市空間創造や都市活動展開を一体化させる新しい街のムーブメントを、「アート」+「アーバニズム」を掛け合わせた造語「アートアーバニズム」とし、そのパイロットプログラムである有楽町アートアーバニズム「YAU(ヤウ)」を本年2月から4ヶ月間実施。有楽町ビル10階、国際ビル地下1階などにてアーティストが滞在制作を行う「YAU STUDIO」、国際ビルの地下飲食街の一画に本プログラムのインフォメーションセンターと若手アーティストに向けた相談所「YAU COUNTER」、一般募集するスクールプログラム「YAU CLASS」などアーティストの持続的な支援を行いました。



エリアマネジメント広告

景観向上のためのルールに基づき、公道上並びに民有地の屋外広告物を企業に販売するエリアマネジメント広告事業を実施しています。得られた広告収入はまちづくりの財源となり、一体感のある街路空間をつくとともに、街の美観向上にも役立っています。広告が出ていない時期にリガーレとして掲出するベースフラッグの制作にも取り組み、今年5月にはアーティストとコラボしたベースフラッグ・プロジェクト「POLYPHONIC REFLECTIONS」も掲出いたしました。



© TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH

DMO 東京丸の内

都心型 MICE 誘致促進を目的に 2017 年 4 月に発足。MICE 関連情報や地区内イベント情報の共有のための定期的な連絡会の開催やWEBサイトの運営などを通して大丸有地区のポテンシャル最大化を目指しています。



DMO

TOKYO / Marunouchi

歩き旅アプリ「膝栗毛 | HIZAKURIGE」丸の内・皇居エリア 新ルート配信

2022 年6月より、歩き旅アプリ『膝栗毛』にて四季折々の自然が楽しめる「皇居外苑」や、長きにわたり発展を遂げてきた丸の内エリアなどを紹介する新ルートを配信しました。新ルートの利用促進を目的とし、8月15日(月)~26日(金)の12日間、Have a Nice TOKYO!、Marunouchi Happ.および micro に設置する「茶屋」において期間限定ノベルティを配布するキャンペーンを実施いたします。



膝栗毛
HIZAKURIGE

*「膝栗毛 | HIZAKURIGE」公式サイト

<https://hizakurige.com/>

*「膝栗毛 | HIZAKURIGE」アプリダウンロード URL

(iPhone)<https://apps.apple.com/us/app/id1560771886>

(Android)<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.hizakurige>

大手町・丸の内・有楽町 夏祭り

行幸通りで開催される大丸有地区の夏の風物詩です。今年で 17 回目となる「丸の内 de 打ち水」は大丸有地区内のビルから排出された中水を利用し環境に配慮しながら「涼」を感じる恒例イベントです。「東京丸の内盆踊り」では行幸通りに高さ約5mの「祭りまつりやぐら」が1日限定で登場し、ライトアップした東京駅を見ながら盆踊りやパフォーマンスなどをお楽しみいただけます。本年は7月29日(金)に開催いたします。



【ご参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体について

大手町・丸の内・有楽町地区は、公民協調によるサステイナブル・ディベロップメントを通じて、約120haのまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。
大丸有まちづくり協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガーレが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会 (大丸有まちづくり協議会)
再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型
まちづくり推進協会 (エコツェリア協会)

サステイナビリティ/Research & Development/ 環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、
大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
(リガーレ)

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局 共同ピーアール(株)PR アカウント本部 9 部

担当:内山・前山・高橋

TEL:070-4303-7327/070-4303-7311 FAX:03-6260-6653

E-mail:tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会へお届けしています。